追手門学院大学 校友会会報

第72号
平成23年（2011年）9月20日
発行者 〒567-8502
茨木市西安威2-1-15
追手門学院大学校友会
会　長　平野　昌雄
電 話 072-643-6135
FAX 072-643-6099
URL http://ogu-koyukai.com
E-mail info@ogu-koyukai.com

大学校友会とともにチャレンジ

学校法人追手門学院
理事長　川原　俊明

《新任のご挨拶》

大学校友会におかれましては、日頃より、学院運営にご協力いただき誠にありがとうございます。私は、このたび7月1日より理事長を拝命いたしました川原俊明でございます。

大木前理事長の後を受け継ぎ、新たな体制のもとで学院運営に関わることになりました。よろしくお願いいたします。

《新理事長は本学院卒業生》

大学校友会は、追手門学院大学卒業生の同窓会組織として、すでに4万人の卒業生を抱え、社会のさまざまな分野でご活躍のこととお慶び申し上げます。私は、本学院卒業生（小71期大手前中高14期）であります。竜田学院長も、学院の卒業生です。理事長と学院長いずれも本学院で初めて卒業生が就任したことになります。123年の伝統を受け継ぐ追手門学院として、新たな歴史を刻むことになりました。

追手門学院大学は、私の高校卒業と同時に誕生しました。同級生の多くが追大1期生として入学し、今も多くの追大卒業生と個人的な親交を深めています。追大は、他大学と異なり人間関係の緊密さはまさに追手門学院の伝統を受け継ぐものであります。

《追手門学院大学の飛躍的発展をめざす》

いま、私学は厳しい時代を迎えています。その中で、追手門学院の将来は、追手門学院大学の飛躍的発展にかかっています。

学院の大きな目標は、追手門独自の伝統的な人間教育、心の教育、あるいは志の教育の徹底にあります。それによって追手門ブランドが確立できれば、関関同立にも十分に対抗できます。全学院のベクトルが一つになれば、私学の雄・追手門学院の確立は十分に可能なのです。その意味で、大学改革は急を要します。追大が輝けば、追手門の全学がさらに輝きを増します。

私は、大学校友会のみなさんと力を合わせて大学改革を実践したいと思います。

大学校友会とともに、改革へチャレンジしましょう。

理事長退任に際して校友会に御礼

学校法人追手門学院
前理事長　大木　令司

校友会の皆様には、平素から追手門学院大学ならびに追手門学院にご支援頂き、洵にありがとうございます。

この6月末をもちまして理事長を退任致しました。理事長職を10年近く、勤めさせて頂きましたが、その間、皆様方より頂きましたご支援、ご協力に対しまして、改めて、お礼申し上げます。理事長として諸々の改革に取り組んでまいりましたが、未だ道半ばという思いでもあります。

在任中、学院創立120周年記念事業の一環として学院全キャンパスのリニューアルを推進し、大学も改修・新築の事業を行いました。校友会からは「将軍山会館」建設のご寄附を頂戴しましたが、瀟洒なデザインのこの会館は後々まで残る立派な施設として、卒業生の方々ばかりでなく、後々の学生たちにも長く愛され、活用されるものと存じます。

大学は2016年に創立50周年という記念すべき年を迎えますが、少子化や競合環境の激化など、大学を取り巻く状況には厳しいものがあります。大学卒業生の皆様、大学校友会の一層のご支援をお願いする次第です。

終わりに、大学校友会のご発展と校友の皆様のご健勝を願いまして、退任のご挨拶とさせて頂きます。

一貫教育・志の教育・自校教育

学校法人追手門学院
学院長　竜田　邦明

本年1月、学院教育改革検討委員会を設立し、3つの教育の柱、「一貫教育・志の教育・自校教育」を提案いたしました。

追手門学院は幼稚園から大学・大学院までを擁する総合学園であり、大学（追大）は、「一貫教育」の頂点にあるので、幼稚園から高校までを牽引する責任があります。

「一貫教育」の実現に向けた第一歩として、大手前高等学校に追手門コースを新設しました。追大への進学を希望する生徒約30名が、基礎を重視した教育の中で、実学と教養を学び、各人の才能の発掘にも力を入れております。

私立学校には創設者と建学の精神が明確に存在するので、志を立てる「志立学校」でもあります。在校生が、人生において何を目的にするのか、何を目標とするのか、学院は、その「志の教育」を担う責任があります。

一貫教育と志の教育を支えるのが、「自校教育」であります。最近、「追手門の歩み」を出版し、教科書として使用していますが、自分の学校を知り、誇りを持つことは、教育理念の理解と実践につながります。

その一つとして、学院の名声を国内外に知らしめてくださった方を対象にした「高島鞆之助賞」を制定し、本年7月、宮本輝氏と中西大輔氏に授与しました。また、追手門学院に3代にわたって入学された家族に、感謝の気持ちを表すことにし、約10組のご家族に感謝状を贈呈しました。

大学校友会は、上述の3つの教育の柱に沿って、幼稚園から大学までのリーダーとして、さらに存在感を見せつけ、ますます盛んになるように願っております。

大学創立45周年

追手門学院大学
学長　落合　正行

校友会からは、入学式や卒業式はもちろん、将軍山祭、留学生、就職活動、国際交流など様々な支援をいただきまして、お礼申し上げます。

昨年度は、校友会のご支援により上海師範大学との国際交流プログラムの協定、就職率の向上、さらに留学生との交流会などが実現いたしました。

今年度大学は、大学創立45周年を迎えております。国際交流推進の最終年でもあります。来る創立50周年への足場つくりと位置づけ、「追手門の教育ルネッサンス」と銘打って教学改革を行い、教員への研究支援を行っております。これは、環境問題、エネルギー問題、食料問題、経済不況、貧困や格差、自然や人工災害、知識基盤社会、高齢社会、グローバル社会などがもたらす地球規模の課題が山積している現代社会だからこそ、教育による人材育成、研究による学問の発展、研究成果の社会還元、社会への提言、文化の創造と発信という本来の機能を十分果たすことができる、教育と研究の確かな大学を本学が目指しているからでございます。

大学では、給付奨学金、課外活動などの学生への支援、これに加えて教養教育、語学教育、国語教育などの教学改革、研究費や海外研究など教員の研究支援、さらに学生の海外留学など国際交流活動などを進めてまいりますので、校友会の皆様にもご支援を賜りましたら幸いでございます。

校友会の皆様には、生涯教育への機会として大学での講演会、講座などをご利用いただければ幸いです。

母校創立45～50周年に向けて

追手門学院大学
校友会会長　平野　昌雄

校友会会員の皆様には、平素校友会活動に格別のご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

大学創立45周年にあたる本年は、各支部（東京、東海、京都、中国、四国、九州）活動の活性化、大学キャリア開発部と共同での就職支援、国際交流年最終年にあたり、嘗てから校友会が提携していた上海師範大学と母校との提携の橋渡し、母校創立50周年に向けての記念事業の為、校友会評議員の強化等をおこなってまいりました。

50周年に向けて母校のさらなる発展の為校友会、大学経営陣、大学教職員、各種ＯＢ会、教育後援会、卒業生保護者の会、現役の学生が、母校の発展・充実を

支援するという点に関して、自分の為ではなく母校の為に同じ方向にむけて今こそ全員の協力が必要ではないでしょうか。

母校の飛躍的発展をめざし、後ろ向きの議論ではなく、今こそ力を結集し歩み進めるべく校友会も協力を考えております。

母校支援の為、校友の皆様のさらなるご協力をお願い致します。

高大連携について報告

追手門学院
大手前中・高等学校
校長　原田　哲次

本校は、総合学園としてのメリットを生かして、幅広い学びの機会、すなわち様々な体験的な学びの機会や、追手門学院大学との連携による学習を通して、しっかりとした目的意識をもって追手門学院大学に入学し、本校での学習成果を基盤にして、大学でさらに一歩進んだ学問の探求を行うとともに、リーダーシップを発揮し大学の活性化に寄与し、社会貢献できる人材の育成を目指して〝追手門コース〟を設置しました。

今年度は、高等学校1年生全員を対象に、竜田学院長、落合学長はじめ各学部の先生方から講義をいただく時間を設け、追手門学院大学の教育内容について知る時間を設定しました。現在、来年度高校2年生の追手門コースの具体的なカリキュラムの検討を行っています。我が国は、現在、様々な分野で厳しい状況におかれています。日本文化のアイデンティティーを大切にして、将来、グローバルな人材となるための実用的な英語力やコミュニケーション力をしっかりと学べるコースとすべく検討を重ねています。

先日、追手門学院後援会の集いで講師の原丈人氏が繰り返し言っておられた、「追手門学院大学の学生は、もっとアジアに、世界に出て活動すべきだ」の声に応えられる大学生が追手門学院大学から数多く輩出されるよう教職員一丸となって努力いたします。引き続き校友会の皆様のご指導ご支援をお願い申し上げます。

大手前中・高等学校 23年度進学状況

追手門学院大学29・京都大学1・京都工芸繊維大学1・和歌山大学1・徳島大学2・香川大学1・三重県立看護大学1・大阪府立大学2・兵庫県立大学1・奈良県立大学1・関西大学16・関西学院大学6・同志社大学5・立命館大学3・京都産業大学1・近畿大学15・甲南大学2・龍谷大学9・香川大学（医）1・岩手医科大学（薬）1・大阪大谷大学（薬）1・大阪歯科大学（歯）2・関西医科大学（医）1・摂南大学（薬）1・徳島文理大学（薬）1・京都外国語大学4・大谷大学2・大阪学院大学3・大阪経済大学2・藍野大学2・大阪大谷大学2・大阪芸術大学4・大阪工業大学2・大阪樟蔭女子大学2・大阪電気通信大学7・関西外国語大学7・四天王寺大学2・摂南大学2・桃山学院大学8・甲南女子大学2・神戸女学院大学3・その他4年制大学十数校で合格者合計は重複合格を含めて189名でした。

高大連携について

追手門学院
茨木中・高等学校
校長　佐々木　実

現下の国内外の情勢は大きく変動しており、不透明で不安定な状況が続いております。今後こうした現実を生きる生徒たちに対して、中高として、学院教育理念「独立自彊・社会有為」に基づく人財育成教育の必要性を思い、学習面や生活面などすべての教育活動の根幹に、教育理念を据えて取り組んでおります。

また、教育理念を実践するにあたり、「自己肯定感」・「関係性」をキーワードとし、まず学習面で「自己肯定感」を得させたいという願いから、「サイクル」学習や、学力「層別」学習を考案し、実施しています。

これらの成果として、学力の定着が図られ、さらには進学実績が向上しました。今春の大学合格状況は、国公立大30名、関関同立大25名と昨年度より倍増し、産近甲龍大249名、追手門大学38名とすべての学力層で伸びがみられることはうれしいことです。

また、「高大連携」事業関連では、高校2年生対象に追手門学院大学の5学部の先生を講師として「追大講座」を開設しています。そして今年度から、高校3年生を対象に、メディアで世界を知り、志を立て学ぶことの大切さを考える「立志塾」講座を新設しました。

今後、二つの講座を軸として、「追大コース」を整備していく所存です。

加えて来年度から「スポーツコース」を設置する方向で考えております。女子サッカー部を新設し、アメリカンフットボール部を強化し、ガンバユースのメンバーとで構成する予定です。

総合学園としての利点を活かし、スポーツを通しての高大連携も可能ではないでしょうか。高大連携事業の活性化が図られることを願っております。

被災地の心のケアに携わって～東北被災地での支援活動のご報告～

追手門学院大学心理学部
教授　橋本　秀美

3月11日東北の地を襲った未曾有の災害に、我が国の、世界の人々が心痛め、そして自分に何ができるか模索し始めました。心理学部を擁する追手門学院大学では、この危機に際し心のケアについて何をなすべきか、何ができ何ができないのか、私も暗中模索でした。文科省から東北被災地へのスクールカウンセラーとしての支援の依頼があった時には、現地の衛生状態や被災状況を考えると、私のような中高年者が被災地支援に入ってかえって迷惑をかけることになってはと悩みました。15年前の阪神大震災で全壊した自宅の下敷きになり九死に一生を得た私は、当時被災地の中心で心のケアの支援に携わった経験やそのノウハウを伝えることの使命を感じ決断しました。

大震災は自然豊かな地で生活していた人々から大切なものを奪いました。温かい家族の温もりに見守られ育まれていた子ども達の命を、親や兄弟姉妹など家族を、家や思い出の品を、そして生活そのものを、大津波は一瞬にして奪い去りました。大きなショックを受けたとき人には様々な反応がみられます。また、個人差も大きく、ときには何年も続く場合や、何年も後何かのきっかけでフラッシュバックすることもあります。

身体にあらわれる反応、行動にあらわれる反応、気持ちにあらわれる反応、考え方にあらわれる反応など様々です。

現地に入ってまず目の前にあるのは津波の被害の甚大さでした。地震による家屋の倒壊が多くの人命や生活を奪った阪神との違いでした。

私が派遣された地域は、

空港からバスを乗り継ぎさらに数時間かけて宿泊先に着き、さらにそこから支援先の学校や避難所とを毎日3時間かけて乗り合いタクシーで往復しますが、そこでは津波に流された地域と難を逃れた地域では全くの別世界がありました。同じ学校の校区内でも同様でした。この被害格差の温度差こそ今後の復興に立ちはだかる一つかもしれないと感じました。マスコミ等からの報道だけではわからないこと、現地に入ってはじめてわかったことも多々ありました。復興対策も阪神を教訓に迅速に進んでいる部分もありましたが、東北の被災地域の広さに息をのみました。兄弟姉妹や親をなくしたりまだ見つからない子ども、クラスメイトをなくしたりまだ見つからない子ども達、たくさんの悲しみとともに、一方では子ども達の健気なほどの笑顔もありました。わずかの期間にどのような支援ができるのか、私はスクールカウンセリングミニモデルとしてできることはなんでもやろうと考えました。学校の先生方の研修、子ども達の心の授業、各学年の先生とのコンサルテーション、保護者のカウンセリング、子ども達のアセスメントやカウンセリング等々、凝縮した日々でした。

支援に入った被災地の学校の先生から先日お手紙を戴きました、

東日本大震災義援金のさらなるご協力お願い致します。

校友会では、大震災発生後ただちに義援金の募集を始めました。現在まだまだ不足致しております。今一度、被災地の苦境をご理解頂き、義援金のご協力を賜りますようお願い致します。

なお、お近くの郵便局の備え付け振込用紙（振込取扱票「青色」）にて、振り込みをお願い致します。

口座番号
００９５０－６－２２６７４１
加入者名
追手門学院大学校友会

「今は一日も早く日常を取り戻したい」こと、「先生から戴いた温かい心と教えて戴いたことを糧に子ども達と楽しく頑張っていきたい」とありました。この日常こそが大切なのだとあらためて痛感し、だからこそ今後の長い道のり継続支援が大切だと思いました。

最終日にまだ先生方の相談が続き、迎えのバスが来ても「橋本先生をあと10分だけ借りさせてください」と車までお願いに走られた校長先生の姿、「先生たくさん教えてくれてありがとう、楽しい授業をありがとう」とメッセージを書いてくれた子ども達。わずか1週間という期間でしたが、この絆が少しでも今後の力に繋がることを祈りながら被災地を後にしました。

文科省から依頼を受けて追手門学院の教員として、この度、心のケアの支援に携わりましたことのご報告と、これからの永く継続した被災地支援を皆様にお願い致したく、ペンをとらせて戴きました。

「泥の河」文学碑、大阪中之島の湊橋に建立

追手門学院大学第1期生、宮本輝氏（芥川賞受賞作家）のデビュー作「泥の河」の舞台となった大阪・中之島西端に架かる湊橋の南詰めに文学碑が建立され、6月5日宮本輝ご夫妻が招かれ除幕式が行われました。

文学碑は、湊橋の袂で船会社を経営する一本松伸氏（追大2期生）のぽんぽん船船着き場が「川の駅」として認定されたことを機に、一本松氏が発案、平野昌雄氏（追大1期生）らの呼びかけで、有志によって設立されました。

一本松氏の実家は宮本氏の隣で、幼い頃、一緒によく遊んだ仲で、文学碑は「泥の河」発祥のこの場所に記念になるものを残したいという思いが結実したものです。

追手門学院後援会の集いが開催されました

7月9日（土）大阪城スクエアで開催されました。

今年度より、追手門学院創設者の高島鞆之助氏を記念し制定された高島鞆之助賞の第一回受賞者が発表されました。お二人の受賞者はともに大学の卒業生で、第一期生の作家宮本輝氏と第23期生の冒険家中西大輔氏でした。

また、親子3世代追手門ファミリーも表彰され、10組の親子3世代が登壇しました。この中で大学出身者は3組でした。

第一回高島鞆之助賞受賞の喜び

竜田学院長・宮本輝ご夫妻・中西大輔氏

1期生　宮本　輝

このたび第一回の高島鞆之助賞を賜りましたこと、ありがたく感謝申し上げます。

追手門学院大学の第一期卒業生として、これ以上に光栄な賞はないと思っております。

学校を創設するということは、百年先、三百年先、千年先を見すえた大計であり、創設者の人材育成の理念、教育哲学だけでなく、長期にわたっての経営手腕までもが問われる難事業です。

追手門学院は創立百二十年を越えて、これからさらに多くの人材を社会に送り出すことでしょうが、その基盤を作った創設者の名を冠した賞を頂戴いたしましたことは、私にとりまして、大きな名誉です。心から御礼申し上げます。

23期生　中西　大輔

栄えある第一回目の「高島鞆之助賞」にあの芥川賞作家の宮本輝先輩といっしょに受賞させていただいたことはとても光栄なことです。

私にとってかけがえのない自転車での活動で初めて名誉な賞を頂いたのは追手門学院大学在学中の1990年です。夏休みを利用して自転車で単独アメリカ横断を果たし、学友会体育会から特別賞をいただきました。砂漠での猛烈な暑さにへこたれた時や孤独感に襲われた時、クラブの仲間の顔を思い出して力をよみがえらせ、ペダルを踏み続けることが出来ました。

大学を卒業し、6年の歳月が過ぎてもニューサイクリング部で培った冒険心やチャレンジ精神は失せず、1998年に自転車で世界一周にチャレンジすることになりました。旅の道中は危険なことにも多々遭遇しましたが、そこでしか得られぬ人々との友情が生まれました。11年に及ぶ旅から帰国し、講演会などを通じ

て国際交流の大切さや冒険にチャレンジする勇気を持つこと、そして人生に夢をもつことの素晴らしさなど子供達に提唱してきました。

そうした地道な自転車冒険での活動を評価していただき、高島鞆之助賞に選考いただいたことは、さまざまな分野で活躍する追手門学院のOB・OGの方々への励みになることと思います。この賞の受賞者の名に恥じぬようこれからも精進して人生を歩んで行きたいと思います。有難うございました。

親子3世代 追手門ファミリー

4期生　西田　いく子（旧姓・脇田）

この春、孫が追手門学院小学校へご縁を頂き、私、娘、孫と3世代で追手門学院にお世話になる事となりました。

私が追手門学院高校を受験したのは当時公立中学校教師をしていた伯母に勧められたからでした。

私立、共学、都会ながら緑豊かな上に何と言っても大阪城！私自身は勿論、母もとても気に入り受験を即決しました。

趣のある木造校舎、擦り減り波打った階段。古いけれど追手門の歴史が刻み込まれたもの。時効だと良いのですが木が摩耗して出来た床穴がゴミ箱代わりになったり……（私は真面目っ子だったのでしてません！）厳しい中にも程よく自由、バランス良き追手門学院高校はとても居心地の良い学び舎でした。

当時は小中高と講堂が共通だった事から追小の児童達を身近で見る事が多くあり、そこで規律正しくきっちりと躾の行き届いた児童の姿を垣間見ては「将来自分の子供は絶対ここへ入学させよう」とこっそり決意していた訳です。

大学にも続けてお世話になり、娘が生まれ念願の「子供は追小へ」を実現する事が出来ました。

〝親子3世代表彰〟を学院より授与いただき学院との〝ご縁〟をとても有り難く嬉しく感じております。

このご縁が今後も続きますように、そして追手門学院が益々発展して行きますように！

他に大学卒業ファミリーは第1期卒業の小林（旧姓森川）紀子さん、第4期卒業の西村淳晨・栄子（旧姓矢頭）ご夫妻です。

オープンキャンパス2011

10月9日（日）
推薦入試直前相談会
12月18日（日）
一般入試直前相談会
各日とも
10：00～15：00
当日、直接本学キャンパスへお越しください。
（駐車場完備）

追手門学院高等学校 ガンバ大阪 ユース選手を受入

本学院の教育理念「独立自彊・社会有為」とガンバ大阪アカデミーのユース育成方針が一致、2011年4月よりユース選手（高校1年生全員）を本学院高等学校に受け入れることが決まりました。本年度は14名の生徒を受け入れています。ユース選手は一般生徒と同じ授業を受けることにより、校内でそれぞれが切磋琢磨し相互に高め合う教育効果が期待できます。また、ガンバ大阪は同じ茨木市内に寮を新設することで、知育（高校）・徳育（寮）・体育（ガンバ大阪ユース）の育成を本学院とともに目指し、選手生活を従来の夜型から昼型のライフサイクルへ転換、世界で活躍する人材の輩出を図ります。

このようなガンバ大阪と本学院のパートナーシップのなかで、8月24日（水）に万博記念競技場で行われた「ガンバ大阪vs柏レイソル」戦で追手門学院スポンサーデーが開催されました。

当日は新たに製作された「追大×ガンバ大阪ストラップ」が入場者全員に配付されました。このストラップは、ガンバ大阪の公式練習着をモチーフに作成した携帯ストラップで、7月17日及び8月7日・8月28日開催のオープンキャンパス参加者にも配付されました。

全国平均を上回る 就職内定率を達成！

キャリア開発部

2009年度は就職内定率が8割台に落ち込みましたが、昨年度は95・8％と9割台を回復、全国平均を上回る就職内定率となりました。就職環境が厳しい中、校友会の皆様の暖かいご支援、ご協力により多数求人

をいただき、内定に繋がっていきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、サテライトオフィス大手前では、卒業生の皆様を対象としたガイダンス、セミナーを定期的に行っています。

■秋季出前JOB活 in 大手前

卒業をしてから就職活動をしていると孤独になりがちです。仲間とともに就職活動状況を共有しながら、部活動のような雰囲気のなか、短期間で就職内定を目指すプログラムです。

■実践！面接対策講座

実践さながらに模擬面接を行います。面接官やオブザーバーなど、採用する側の立場も体験し、企業の求める人物像を探り、実際の面接に活かします。

■グループワーク実践講座

グループワークを通じ、複数名で議論することに慣れていきます。他人の意見を尊重しつつも、どのように自分の意見を理解してもらうかを考え、実践に活かします。

お問合せ
06・6942・7700

大学45周年記念事業 宮本輝講演会案内

日時：10月22日（土）
14：00～15：30
会場：大学　学生会館大ホール
講演：宮本輝（芥川賞作家／大学　第一期卒業生）
入場：無料・要事前申込
申込：読売新聞東京本社活字文化推進会議事務局
FAX
03・3217・4309
締切：10月7日（金）
お問い合わせ：入試広報課
電話：
072・641・9165

追手門学院大阪城スクエア　催し物案内

①　大阪ヘルスジャンボリー2011
～健康を体感しよう！秋の陣～

日程：10月8日（土）
第1部「健康とお金の幸福論」
講師：村上亨　経済学部ヒューマンエコノミー学科教授
時間：10：30～12：00
第2部「すこやか大阪21健康づくりフォーラム」～健康へ、いざ歩かん～
講師：宮側敏明　大阪市立大学都市健康・スポーツ研究センター教授
時間：13：30～16：00
定員：400名　入場無料
主催：大阪市／すきやねん大阪市民運動推進委員会
共催：学校法人追手門学院

②　おうてもん塾　第2期「好きと嫌いの心理学」

日程：10月4日（火）
～11月22日（火）
13：30～15：00　全6回
定員：100名受講料無料

③　心の教育「スペシャリストになる」―学院卒業生による連続講演会―
第5回　～心の教育ボーイスカウトと郷中教育から追手門学院へ～

日時：10月14日（金）
18：30～20：00
講師：林田　隆行（トップ金属工業（株）代表取締役・追手門学院小・中・高等学校、大学文学部卒）
対談：津田　克彦（追手門学院小学校長）
第6回～医師をめざす「志」～
日時：11月11日（金）
18：30～20：00
講師：生野　照子（浪速生野病院心身医療科部長、大阪府教育委員長、追手門学院小・大手前中学校卒）
受講料：無料

④　大阪城スクエア・ファミリークラシックコンサートVOL.2
～バグパイプ悠久の響き～

日時：10月27日（木）
18：30～20：00
定員：400名
入場料：500円（高校生以上）
演奏：リンゼイ・デイヴィッドソン（バグパイプ）
ルナソーレ　クァルテット
監修・解説：門田展弥（作曲家、音楽評論家）
※申込・資料請求・お問い合わせ
追手門学院大手前センター（大阪城スクエア）
電話：
06・6942・2788

高島鞆之助先生顕彰記念碑

鹿児島市　大平　卓（11期生）

鹿児島市上之園町の甲突川河畔にあります高島鞆之助先生の顕彰記念碑を私が初めて訪れたのは、ここ鹿児島で校友会の九州支部総会と懇親会が開かれた平成12年2月のことです。

阪神淡路大震災の影響で兵庫県の明石市から嫁の出身地である鹿児島市に引っ越して来て、校友会の九州支部総会が鹿児島で開催される直前に創立者である高島鞆之助先生の存在を認識した次第です。阪神淡路大震災の影響でと申しましたが、あれ以来の鹿児島暮らしのなかで高島鞆之助先生の出身地に功績を顕彰する記念碑に出会った時は、何かなつかしさのようなものを感じました。

学院関係者が定期的に訪問されているとのことを聞き、以来ほぼ毎月1回散歩ついでに清掃活動をやっております。この場所は鹿児

市が指定する歴史的景観を守る町並みにある甲突川沿いの公園にあり、対岸は大久保利通、西郷隆盛、大山巌らが生まれた町で、高島鞆之助先生ともども明治維新に深く関わった偉人たちを輩出した地域に有ります。九州新幹線が全線開通し、新大阪から鹿児島中央までは3時間45分で結ばれましたので、こちらに来られる際は是非、顕彰記念碑を訪れてみてください。お待ち申し上げます。

教育研究所主催 教育セミナーに参加して

42期生　心理学部卒業　赤尾辰也

6月30日15時より行われた第21回教育研究所セミナーに参加させて頂きました。

教育研究所では、追手門学院の教育をさらに活性化させていくために、セミナーを中心とする授業支援活動や学生FDスタッフの活動支援、文章表現コンクール『青が散る』アワードの主催、高大連携事業の推進などを行っています。

今回のセミナーのテーマは「学生主体型授業の取り組み」でした。

第一部では、学外からのゲストとして、山形大学の杉原真晃先生がご講演されました。また、追手門学院大学からは、経営学部の水野浩児先生、心理学部の三川俊樹先生、国際教養学部の重松伸司先生が、自らが取り組んでおられる学生主体型授業について、実践報告をされ、ゼミ生や受講生からの授業の感想が発表されました。

第二部では、教員・職員・学生が一つのテーブルに集まって、テーマに沿った話し合いをする「しゃべり場」を行いました。私が参加したグループでは「学生が望む授業、教員が望む授業」というテーマでした。教員・職員・学生がそれぞれの立場から意見を述べることによって、お互いの考えを共有することができました。

どのグループも活発に意見を交わし、参加者全員が有意義な時間を過ごすことができました。

最後に、本学学生FDスタッフの代表（山下貴弘君・心理学部3回生）から、来年の2月25・26日に、追手門学院大学主催、立命館大学共催で、「学生FDサミット2012冬」というイベントを行うとの発表がありました。学生FDサミットには、全国から教員・職員・学生が集まり、自分たちの手で大学をよくしていくために取り組んでいる活動の発表や、他大学のFDスタッフとの意見交換が行われます。このサミットの準備のために、現在、追手門学院大学では、教員・職員・学生が三位一体となって、さまざまな研修が行われています。卒業生も追手門学院大学のためになにか協力できないか、これを機に考えていきたいと思います。

活躍する校友（10）

木工工芸家　三谷龍二氏
暮らしと木のうつわ

僕の知り合いの器ギャラリーへは、震災で食器棚のうつわが割れてしまった、という方が多く来られるそうです。大切に使ってきたうつわが壊れた時は、もう、とてもがっかりして、新しくうつわを買う気など起こらなかったと皆さんおっしゃいます。ところが少し気持ちが落ち着いて、暮らしも少しずつ平常に戻ってくるにしたがい、またうつわが欲しいと思うようになった、とギャラリーに出向かれた。「毎日の暮らしを、より一層大切に思うようになったから」と、ギャラリーに見えられたお客様が話してくださるそうです。

僕たちは暮らしのうつわを作っていますが、日々の生活の中で、うつわが人々の小さな「必要」に応えるものであるならば、それに変わる喜びはないと思っています。誰でも経験あると思いますが、好きな服で出かける時は、気分までどこかウキウキするようなところがあります。器の場合もちょうど同じで、好きなうつわでごはんを食べることが、楽しいことであって欲しい。笑顔で一杯の食卓であってほしいと願うのです。

日常のうつわを作ることは、大切なものを自分たちの足もとに見つけようとすることだろうと、思っています。

《三谷龍二氏プロフィール》
追手門学院大学
文学部社会学科卒業
1981年、長野県松本市に個人工房「ペルソナスタジオ」を構え、木の器を日常使いの食器として提案。他に伊坂幸太郎などの本の装丁絵画、立体作品も製作
著書
「木の匙」「僕の生活散歩」新潮社ほか
毎日新聞日曜欄に連載中

追手門学院大学校友会　プロフィールシート

平成　　年　　月　　日現在

会員番号			
ふりがな			
氏名		電話番号	
旧姓		携帯電話	
ふりがな			
住所	〒		
E-mail（PC）	@	E-mail（携帯）	@
期生		学部	
学科･専攻			
クラブ名		ゼミ名	
勤務先名		業種	
勤務先所在地		勤務先電話番号	
勤務先URL		部署	

住所等に変更が	①　あり	②　なし

次に列挙する校友会主宰（在校生・卒業生向け）のイベント等についてご協力を頂けますか？		
社会人としてのキャリアアップセミナー講師	□ 可	□ 否
キャリアアップに関する個別のアドバイザー	□ 可	□ 否
会社訪問・会社見学のご協力	□ 可	□ 否
プレインターンシップへのご協力	□ 可	□ 否
インターンシップへのご協力	□ 可	□ 否
学生アルバイトの受け入れ・ご採用	□ 可	□ 否
新規学卒者の受け入れ（就職支援）のご検討	□ 可	□ 否
大学既卒者の受け入れ（就職支援）のご検討	□ 可	□ 否
留学生の観光などのご協力	□ 可	□ 否
留学生の受け入れ（ホームスティ等）のご検討	□ 可	□ 否

■ご職歴・得意分野・その他（ご協力内容）

■保有資格・趣味・社会活動など

当該プロフィールシートにて得た情報は大学校友会の活動においてのみ使用致します。

郵送の場合の「のりしろ」①

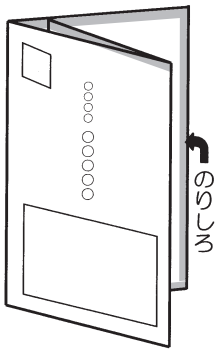
郵送の場合の「のりしろ」②

郵送の場合の「のりしろ」①

郵送の場合の「のりしろ」②

のりしろ③

【郵送の場合】
二カ所の点線で「山折り」し、
同番号どうしの「のりしろ」で糊付けしていただき
封筒状にしてポストに投函して下さい。
差出有効期限内は、切手不要です。



FAX. 072-643-6099
番号の押し間違いにご注意下さい。

567-8502
大阪府茨木市西安威2-1-15
追手門学院大学校友会
電話 〇七二-六四三-六一三五
FAX 〇七二-六四三-六〇九九

のりしろ④

のりしろ⑤

〈山折り〉

料金受取人払郵便

茨木支店承認
4088

差出有効期限
平成24年８月
31日まで

567-8790

（受取人）
大阪府茨木市西安威
二丁目一番十五号
追手門学院大学校友会
事務局（庶務課）行

〈山折り〉

恩師を訪ねて（10）

追手門学院大学
名誉教授（生物学）
西川　喜朗　先生

幸な教師生活でした

私の追手門での46年間の教師生活はたいへん幸せでした。個性ある学生さん、多くの研究者や虫屋さんと出会って、お付き合いを続けることができました。今後は、教材研究のあとまわしにしていた調査・研究を続行することと、ため込んでいた標本の整理に精力を注ぎたい。

地図をながめて、次はどこへ調査・採集に行こうかと思いめぐらす日々を夢見ている。

追手門との出会い

私が大阪府立大学農学部の大学院に進んだときに、先輩の梅岡さんの紹介で中学部の生物の講師をした。

中学部には多田先生、辻井先生がおられて、親切にしていただいた。必死の教材研究と、生徒たちと大阪城公園で楽しんだ。「上六」に帰る市電の中で、生徒たちに「先生！」と言われてすごく恥ずかしかった。

その2年後の1966年に、茨木市安威に大学ができ、高等部におられた八木沼健夫先生が大学の生物学の主任教授となられ、私は運よく助手として採用された。ちょうど年が合ったのは大変幸運であった。府立大学時代は中尾佐助先生の育種学講座で稲の交配実験をしていたが、趣味の昆虫採集は次第にクモ採集へと変わっていった。

クモ採集にはまる

八木沼先生は世界で初めてクモの図鑑を保育社（1960）から出版された、日本のクモ学の創始者で、昭和天皇に「ご進講」をされた、理科教育にも非常に造詣の深い先生だった。

1968年から始まったJIBP（国際生物学事業計画）に八木沼先生の代理として、多くの生物学者と日本各地（御嶽山、大雪山、石槌山、霧島山など）で合宿・調査をおこなった。同時に八木沼先生からクモ学の特訓をうけた。

1972年には茨木産で日本に近似種が多くいるクモを新種発表し、コエローテス・ヤギヌマイ（和名をカミガタヤチグモ）と先生に献名し、クモ研究が面白くなってきた。

西川先生最後の講義

新種の発見

おもに地表性・落葉層性・洞窟性のクモや昆虫類の採集に駆けずり回り、66種のクモを新種記載（うち外国産4種）した。また、各地で採集した標本をその虫の専門家に送ったら、チビゴミムシ、ハネカクシ、クモ、ダニ、ワラジムシなど約60種が新種として記載され、うち24種の学名や和名にCybaeusyoshiakii、Zelotesnishikawaiとか、ニシカワチビゴミムシなどと献名していただいた。

人の行かない所や時期に、人のやらない採り方を、狙いをつけた時には何回も採集に努力すれば、新種発見は案外容易であった。

追手門学院高等学校で

大学に勤務しながら高等学校の講師を10年余り務めた。教育熱心なコケの児玉先生と門川（白木）先生には、植物学・生物学の面白さを教わった。大峰山、稲村ヶ岳、和佐又山、尾鷲、佐津、三川山、箕面、安威川など、生物部の合宿にも同行させていただいて、私の自然観はたいへん成長したと思っている。

・松の木は切らなくても節を数えれば年齢がわかる。黒松の葉は痛い。赤松は？

四季の自然に感動しよう

・花はなぜ咲くの？　きれい、蜜がある、匂う？　果実？　種のため？

花はいいけど虫はいや！

これでは花達は商売成り立たへんのとちゃう？

ゴケグモ騒動

1995年暮れに外来種の毒グモのセアカゴケグモが、大阪府高石市・堺市から多数発見され、連日テレビや新聞紙上でニュースが飛び交った。一緒に調査したクモ学会会員・大阪の博物館友の会の友人をはじめ、当時日本蜘蛛学会の会長だった私は、マスコミの対応に忙殺された。授業で教室に入ったら電話もなくホットできた。

セアカゴケグモの成虫は体長約1センチ、黒い腹部の背中に真っ赤な斑紋がある。近畿の新興住宅地をはじめ徐々に日本各地に分布を広げている。けが人も出ているが大きな事故にはいたっていない。咬まれて全身症状が出たら病院に行くこと。日当たりのよい側溝や駐車場の器物についていることが多い。

●好きなことば

・気配り。思いやり。

・五風十雨

・人間万事塞翁が馬。

・百聞は一見にしかず。

「将軍山オータムコンサート45」

魅せましょう 追大生×OB くつろげる小高い丘の音楽会がオープンキャンパスに合わせ開催されました。

日時：9月18日（日）
11：30～13：30
将軍山会館中庭
出演：田中ゆみ（元シモンズ）&サンライズバンド（アメリカ民謡研究部OB）ギター部（追手門学院大学現役）マインズ（アメリカ民謡研究部OB）
追手門学院大学現役とOBとの初コラボレーション音楽会でした。

2011年6月、紅葉チームとして、現役とOB合同チームが発足し、オープンキャンパスに向けて3回の会議を経て、「将軍山オータムコンサート45」が開催されました。

当日は60万枚ヒット曲「恋人もいないのに」・チェルシーのCM曲で有名な元シモンズの田中ゆみさんをゲストに迎え、超スペシャル音楽会！となりました。ご参加の皆様は追手門学院大学ならではの雰囲気をご体感されたことと思います。

追手門学院大学 学生のテレビCM制作について

学友会委員長　橋本　拓哉
文化会副委員長議長　山下　修平

私たち追大学友会は、去年から映画研究部シネマクリエイターやマスコミ研究会が中心になって、追手門学院大学のテレビCMを制作しています。昨年度は、12月～2月にテレビ大阪・KBS京都テレビで放送されました。また今年度は、8月・9月にテレビ大阪で、また7月～1月まで毎日放送の番組『ガンバTV』内で放送されています。

実は、これらCMの絵コンテやキャスティング・撮影・編集など制作は、全て

私たち学生が行っています。特に今年度は、文化会のみならず、学友会本部や体育会、将軍山祭実行委員会、体育祭実行委員会など課外活動団体の垣根を越えて協力しあい、2本のCMを仕上げました。CMは15秒と短いですが、短いからこそ絵コンテの完成度の高さが問われます。15秒間では二言三言のセリフが流れて終わってしまいます。その中でいかに、追手門学院大学をアピールするかを考えなくてはいけません。撮影についても、屋外の場合は、天気や周囲の雑音にも常に気を配る必要があります。特に、撮影日に雨が降った場合などは、臨機応変な対応が求められます。普段、私たちが見流しているテレビCMには多くの人の熱意や努力が詰まっていることを、この活動を通して知りました。期限があるのに、なかなかうまく進まないこともありますが、今年度は学友会全体で取り組むことで、違う視点からの意見も活発に交わされて、新たな発見が多くとても勉強になりました。追大生が作り上げたテレビCMを、ぜひ皆様ご覧ください。

MBSテレビ毎週月曜深夜『ガンバTV』AM1時35分

ジャパンカップに向けて

チアリーディング部
主将　眞銅　景子

私達チアリーディング部は現在、部員20名、マネージャー1名の計21名で日々活動しております。

先月行われました関西チアリーディング選手権大会では、去年の悔しさを晴らすべく、規定演技、自由演技ともに全力を尽くしました。規定演技はミスもなく練習での成果を発揮することができました。しかし、自由演技では、練習の成果を十分に発揮することができず、とても悔しい思いをすることになりました。練習で出来ていないことは、

本番でも出来ないということを改めて痛感しました。全力を尽くしたつもり…頑張ったつもり…本番ではなんとかなる…この詰めの甘さが本番に出たと思います。この大会での反省点を、幹部と部員全員でミーティングし、この悔しさを絶対に忘れず、次につなげようと話し合いました。

次の大会は、8月末に東京の代々木第一体育館で行われます全日本チアリーディング選手権大会ジャパンカップ2011です。かろうじて、フライディトーナメント予選の出場権を獲得することできましたので、予選から準決勝、準決勝から決勝まで勝ち進めますよう、この夏はチーム一丸となり頑張っていきたいと思います。関西と同じ悔しさを味合わないためにも、練習から変えていかなければなりません。私はキャプテンとして、チームのために何ができるか何をするべきかを考え日々の練習に取り組みたいと思います。きっと夏の練習は暑く厳しいものだと思います。しかしそのなかでも、集中力を切らさず、みんなのモチベーションやテンションを上げ、練習に励みたいと思います。

最後になりましたが、いつもサポートして下さる校友会関係者の皆様、温かいご声援ありがとうございます。引き続き、ご声援の程よろしくお願い致します。

剣道部　新人戦で優勝

経営学部1回生　宇野　弘樹

こんにちは、宇野です。

今回の新人戦は先生や諸先輩方の応援のおかげで優勝することができました。

試合を重ねる度に成長していくことが自分でも実感することができました。

次からの試合も優勝を目指して頑張っていくので応援宜しくお願いします。

平成23年度 九州支部総会・懇親会

九州支部長　岩崎　陽一（6期生）

梅雨空の博多に、追手門学院大学アワーの武田双雲氏の講演に引き続き支部の総会・懇親会を天神のイタリアンレストランで開催いたしました。

幸い雨は上がり太陽が顔

をのぞかせる一日と成りました。支部のこの会には、大学より永吉特任副学長・吉田大学事務部長、校友会本部より常任理事をはじめとした総勢6名様をお迎えして、12名の支部会員で在学当時を思い出すメモリアルタイムを満喫することができました。

中でも、木屋理絵さんから披露されました当時の単位登録の資料や文化会活動の写真に母校の歴史を思い起こしました。皆さんも当時のキャンパス生活を思い出しながら卒業以降成長を重ねた自らの年月の速さと深さを実感されていました。

今回の総会では、若い会員の方の参加があり今後の支部の活性化に希望が膨らんだところです。次回は九州新幹線が開通した鹿児島での開催を約束して会を閉じました。鹿児島は学院の祖高島鞆之助先生の出身地です。是非多くの皆さんの参加をお願いしたいところです。

追伸：当日の会終了後、福岡にお泊りになられる永吉副学長様を囲む会を実施し、大学の特色ある教育実践や校友会本部の全力サポートについてお話をお聞きし、支部の皆もより一層母校への熱い思いを共有できたようでした。参加者皆さんのご協力に感謝しています。

追手門学院大学京都アワー2011に参加して

経営学部経営学科
山中雅夫ゼミ卒業
30期　中井　美江

1999年に卒業して以来、仲の良かった友達とは交流していたものの、大学とはすっかりご無沙汰しておりましたが、今回初めて「追手門学院大学アワー京都会場」に参加させていただきました。

昨年私は司法書士試験に合格したのをきっかけに、OLから司法書士事務所に転職しましたが、初めての世界に戸惑いの毎日で、自分に足りない面を補っていくため、様々な方と交流したいと思っていました。追大に何か卒業生の交流の場はないかと探していたところ、インターネットで追大出身の一級建築士がいるのを発見。調べてみると、何とその建築士は同じクラスの田中克茂さんでした。田中さんから、今度、追手門学院大学アワーが京都であること、昨年の京都アワーでは、私のゼミの山中雅夫教授の講演があったことを聞き、急に懐かしくなって参加してみようと思いました。

交歓会では、初めてお会

いする方が多く、最初は緊張気味でしたが、追大出身というだけでびっくりするぐらい共通の話題があり、皆さん追大生の温かい雰囲気は昔のままで、ホッとする様な癒しの場となりました。先輩方の経験談も聞くことが出来、今回の参加の感想を一言で表現すると、「楽しかった！」の一言につきます。先輩や同級生の存在を再確認でき、心強く感じることが出来ました。

本当に追手門学院大学は良い大学だと思います。

これからは、大学の行事に積極的に参加し、先輩方が作り上げてきた追手門学院大学を発展させていけるよう、努めていきたいと思います。

追手門学院大学アワーin福岡 武田双雲氏講演会が開催されました

追手門学院大学アワーin福岡が、去る6月11日（土）書道家の武田双雲氏をお迎えし、博多天神クリスタルビル大ホールにて開催されました。

講演に先立ち、永吉特任副学長より、今年で3年目を迎える追手門学院大学アワーについて、近畿圏以外での大学知名度の普及のため、また校友会（同窓会）活動の活性化を目指し、各地で文化的価値の高い講演会を開催してきたが、今回は初めて福岡で開催させていただいた旨の挨拶があった。

会場は、200名近い来場者で満員になり、状況に係わらず「感謝メガネ」をかけて常に感謝の心をもつこと、苦手なことも義務感を持たないことで克服できる等日々生きる上でのヒントをユーモア交えてお話しされる双雲先生に、全員が引きこまれ、双雲先生も時間を延長して熱弁をふるっていただき大盛況のうちに講演は終了しました。

少林寺拳法部、創部45周年記念式典を終えて

少林寺拳法部OB会事務局長　美濃岡　伸也（7期）

平成23年3月6日，大木前理事長、落合学長、中嶋常務理事をはじめとする学内学外より多数のご来賓のご参加をいただき、ホテルニューオオタニ大阪におきまして創部45周年記念式典を挙行いたしました。

今回の式典は、監督の交代式も兼ねておりました。正式に福本前監督から大西新監督へバトンが手渡され、新体制でのチームがスタートいたしました。

第五期生 還暦同窓会が開催されました

永井　秀明（5期）

9月4日（日）大阪新阪急ホテルの紫の間で第5期生の還暦同窓会が開催されました。

久しぶりに同窓生が集まり、昔話に花が咲く中、参加者お互いにまたの再会を約束して無事に散会いたしました。

支部総会のお知らせ

○中国支部総会

●開催日時　10月1日（土）15：00～16：00

●開催場所　岡山コンベンションセンター　2階　展示ホール（岡山市北区駅元町14－1）

※当日14時より、同所にて追手門学院大学アワー（講師：原田宗典（作家））が開催されます。

○東京支部総会

●開催日時　11月12日（土）17：00～

●開催場所　東天紅（東京都千代田区丸の内3－5－1　東京国際フォーラムガラスホール　7階）

※当日14時より、日経カンファレンスルーム（東京都千代田区大手町1－3－7）にて追手門学院大学アワー（講師：北原照久（株式会社トイズプランニング代表取締役・横浜ブリキのおもちゃ博物館館長）・勝見充男（追手門学院大学客員准教授・古美術自在屋店主）が開催されます。

○四国支部総会

●開催日時　11月27日（日）14：30～

●開催場所　旧善通寺偕行社会議室（香川県善通寺市文京町2－1－1）

総会及びホームカミング・デー開催のご案内

今年も大学祭期間中の10月30日（日）に、校友会総会が午前11時より大学食堂棟3階で、ホームカミング・デーが正午より大学食堂棟1階で開催されます。是非、ご参加ください。なお、将軍山会館では、「思い出の卒業アルバム展」が開催されます。

心理学科同窓会のお知らせ

10月30日（日）、心理学科では心理学科同窓会を開催いたします。午後2時から2号館3階2305教室において開催の予定です。

同窓生といいましても随分と広い年齢幅にわたっております。最近は卒業年度ごとの集まりをもつ動きも出てきております。そのような集まりをもつ一つの機会として活用していただくのも良いのではないかと考えております。

お問合せ　心理学科実験準備室（072・641・9619）まで。

社会学部支援同窓会ソキウス総会のおしらせ

社会学部支援同窓会
ソキウス会長　メ野洋司

10月30日（日）ホームカミング・デーの日に、社会学部支援同窓会ソキウスの第6回総会並びに懇親会を、開催いたします。

日時　10月30日（日）
13時30分頃より　大学食堂棟3F　スタッフルーム

会費　¥2、000
但、卒業後、5年間（38期～42期）は会費免除です。

連絡先　幹事長　林田
090・1584・9952
吉田先生・矢谷先生にもご出席いただきます！

校友会キャリア開発支援委員会

プロフィールシートを多数ご提出頂きまして誠にありがとうございます。遅ればせながら大学校友会としてこの貴重な資料を元に活動を行う所存です。ご提出頂いた同窓生のみなさまにはご面談の機会を頂戴することもありますのでご配慮のほど宜しくお願い致します。

また、今回の会報にもプロフィールシートを掲載していますので校友の皆様はふるってのご協力、ご提出をお願い致します。

会報の9・10ページ部分を切り取り必要事項をご記入の上、点線に沿って封筒を作りポストへ投函お願いいたします。

メルマガ登録のお願い

校友会から母校の最新情報を配信しています、メールマガジンへの登録をお願いします。

メルマガは携帯電話での受信を中心に発信していますが、パソコンでも受信可能です。

また、携帯用のホームページも完成し、メルマガでは伝えきれない情報を、パソコン用ホームページよりも早く、リアルタイムにお伝えできるようになりました。

ぜひとも、メルマガ登録と同時に、携帯へのブックマーク登録をお勧めします。

受信制限をされている方は、登録の前に次の2つのメールアドレスを指定受信許可にしておいてください。

（携帯指定受信変更の方法がわからないときは携帯電話のショップにお尋ねください）

mm-info@ogu-koyukai.com
info@ogu-koyukai.com

最初のQRコード読み取り不可の場合は次のアドレス①より登録お願いします。

設定完了後QRコードを携帯電話で読み込み、インターネットに接続して新規登録をお願いします。

メルマガの受信は、パソコンと携帯、両方に登録できます。

登録完了メールと共に、登録変更用のアドレス・パスワードが届きますから大事に保存をお願いします。

届かない場合は、メールアドレスの入力ミスか指定受信登録のミスです。校友会事務局にメールで問い合わせてください。

①
②

①メルマガ登録用 QR コード
http://ogu-koyukai.com/script/member_regist.php
②携帯電話用ホームページ QR コード
http://www.ogu-koyukai.com/keitai/koyukaitop.html

編集後記

72号発行にあたり、理事・評議員以外の一般校友まで広報委員会とキャリア開発支援委員会に御加入下さり、大所帯になってきましたが、それなりの成果が実ったと思っています。お力添え賜りました、教職員の皆様方には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。有難う御座居ました。（Ni）